

令和7年度 商工観光労働企業委員会 県内所管事務調査の概要

令和7年5月8日（木）

◆調査箇所：中部振興局

【概要】

中部振興局から、管内の概況、組織・施策体系、防災対策の推進や特定家畜伝染病対策、まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略の着実な推進（地域活性化の推進、高齢化集落対策の推進、観光・商工業の振興）、令和7年度の管内各地への取組方針、高齢化集落対策における段階的支援、地域活力づくり総合補助金を活用した地域活性化の推進、補助実績等の説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・特定家畜伝染病対策本部が立ち上がった場合の市との連携について
- ・外国人と地域住民との交流における好事例について
- ・中部振興局管内での地域連携、担当者間の連携について

◆調査箇所：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社（大分市松岡）

【概要】

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社は半導体の設計・開発・生産などを行っており、イメージセンサーにおいては50%を超える世界トップシェアを誇っている。今回訪問した大分テクノロジーセンターは平成28年4月に開所し、主にCMOSイメージセンサーの生産を担っている。

今回は、会社概要、大分テクノロジーセンター国東サテライト、大分テクノロジーセンターでの生産状況等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・世界情勢の変化による影響について
- ・半導体工場における工業用水の必要性について
- ・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社の経営方針について

◆調査箇所：藤居酒造株式会社（臼杵市野津町）

【概要】

藤居酒造株式会社は、1872年創業で県内でも老舗の蔵元のひとつである。主力商品でもある清酒においては、熊本国税局の酒類品評会において4年連続で表彰されるなど高い評価を得ている。近年では、清酒、焼酎の製造・販売のほか新規事業として、地元である野津町産の農作物を活用したウイスキー製造に取り組んでいる。

今回は、会社概要、総合補助金を活用したウイスキー製造事業の目的や事業詳細等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・このタイミングでウイスキー製造に取り組む理由について
- ・使用している樽の種類について
- ・新商品のネーミングについて

◆調査箇所：一般社団法人臼杵市観光協会（臼杵市臼杵）

【概要】

一般社団法人臼杵市観光協会は、国内外旅行者の誘客、観光資源の開発、情報発信など、臼杵市の観光振興に関する事業を行っており、令和5年度に造成した臼杵の食文化・歴史文化の地域資源を活用した体験型観光コンテンツ「USUKI VENUE」等による観光振興を推進している。

今回は、「USUKI VENUE」造成に至った経緯、販売実績、今後の展開等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・稲葉家下屋敷の通常時の利用状況について
- ・町を挙げての取組について
- ・臼杵駅改札口のICカード化に向けた取組について

令和7年5月15日（木）

◆調査箇所：クラサケミカル株式会社（大分市中ノ洲）

【概要】

クラサケミカル株式会社は、株式会社レゾナックの石油化学事業を分社化して、令和7年1月から現社名となっている。クラサケミカル社のある大分石油化学コンビナートは13社で構成されており、九州唯一のエチレン製造工場を有し、数多くの石油化学基礎製品を生産している。近年では、カーボンニュートラル達成への取組にも力を入れている。

今回は、会社及び大分石油化学コンビナートの概要、カーボンニュートラルの達成に向けた取組内容等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・プラントにおける暑さ対策について
- ・コンビナート全体でのBCP（事業継続計画）について
- ・若手社員の育成について

◆調査箇所：北部振興局

【概要】

北部振興局から、管内人口の推移、組織及び人員、地域活力づくり総合補助金による支援（地域創生事業、空き家ビジネス活用事業）、福岡・大分デスティネーションキャンペーンの取組、宇佐神宮御鎮座1300年関連事業、宇佐駅の機能強化による地域・観光活性化事業、外国人労働者への支援等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・大手企業の人員削減等が県北地域の自動車産業に及ぼす影響について
- ・豊後高田市に設置されている外国人相談窓口について
- ・在留外国人に対する地域住民の反応について

◆調査箇所：旭タカロン株式会社（宇佐市猿渡）

【概要】

旭タカロン株式会社は、不要となったスーツや作業着等の古着を回収し、自動車用内装材（遮音材、吸音材、緩衝材）で利用する多品種のフェルト商品へ変換して販売するなど、リサイクル・リユースビジネスモデルを展開している。

また、平成29年には、大分県健康優良法人に認定されるなど、従業員のワークライフバランス・自己成長支援にも力を入れている。

今回は、会社概要、製品や取組内容等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・古着を活用することに着目したきっかけについて
- ・製品となる古着の収集方法について
- ・従業員の勤務体系について

◆調査箇所：中津市外国人総合相談センター（中津市豊田町）

【概要】

中津市外国人総合相談センターは、令和5年12月に中津駅近くの商業施設内に開設された。中津市には、令和6年末時点で約2,400名の在留外国人が暮らしており、当該センターは、暮らしの中で抱えている困りごとや悩みごとの相談窓口として、誰でも気軽に立ち寄り相談ができる場所を目指している。また、日本人住民から寄せられる外国人に関する相談にも対応している。

今回は、外国人総合相談センターの概要や中津市の多文化共生の取組等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・中津市が外国人総合相談センターを設置した背景について
- ・永住権取得者の人数について
- ・日本人からの主な相談内容について

令和7年5月16日（金）

◆調査箇所：大分県立工科短期大学校（中津市東浜）

【概要】

大分県立工科短期大学校は、本県の産業の発展、企業の技術力の向上に寄与するため、産業社会の変化に柔軟に対応できる高度な専門的知識と技能を兼ね備えた人材の育成を目的として設置され、3系（機械システム系、電気・電子システム系、建築システム系）6コース制の教育訓練体制を取っている。

今回は、学校の沿革、組織、職員数、教育の概要、在校生の状況、卒業生の就職状況のほか、企業で働く人を対象とした技能向上セミナー等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・生徒確保に向けた取組について
- ・4年制大学への編入について
- ・施設等ハード面の更新状況について

◆調査箇所：西部振興局・日田高等技術専門校

【概要】

西部振興局から、管内の概況、組織・業務体系、地域活づくり総合補助金活用事業、地域資源活用型観光サービス開発支援事業補助金活用事業のほか、熊本県からの誘客促進、日田彦山線BRT沿線の地域振興・利用促進、ものづくりの再興による活性化など、観光・商工業の振興に関する取組等について説明を受けた。

また、日田高等技術専門校から、設置目的、沿革、組織、入校生の状況、これまでの資格取得状況、技能向上訓練、委託訓練の状況について説明を受けた後、それぞれの取組に関する質疑及び意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・熊本県からの誘客促進事業の詳細について
- ・BRTを活用した沿線の地域活性化について
- ・ガーデンエクステリア科の入校生について



◆調査箇所：一般社団法人日田県産業振興会（日田市東有田）

【概要】

一般社団法人日田県産業振興会は、産業の衰退、技術の喪失に歯止めをかけ、更なる進化を図ることで地域産業の強化や新たな産業を創出し、担い手の確保と育成につなげることを目的として発足した組織である。日田地域のメーカーと協力して、日田産のスギやヒノキを使用した商品開発に取り組むなどしている。

今回は、組織の概要、商品の紹介、主な取組等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、地場の名産品等を展示、販売しているCREATIVE BASE FABの施設見学を行った。

<主な質疑等>

- ・日田県産業振興会の組織構成・具体的な役割について
- ・県などの行政との具体的な連携について
- ・今後の運営費、維持管理費について



◆調査箇所：新D&S列車「かんぱち号」おもてなし実行委員会（九重町右田）

【概要】

新D&S列車「かんぱち号」おもてなし実行委員会は、久大本線の敷設に尽力した八鹿酒造3代目の麻生観八翁の功績を讃え、令和6年4月に運行を開始した「かんぱち号」のおもてなし駅として指定された恵良駅において、おもてなし事業を実施する団体である。当該団体は、九重町観光協会、九重町商工会、八鹿酒造、九重ふるさと館活性化協議会、九重町観光・地域振興課、東飯田地区まちづくり協議会で構成されている。

今回は、事業の概要、目的、事業効果や課題等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・かんぱち号の乗客の年代層について
- ・おもてなしを始めたきっかけ、これからも続けていく理由について
- ・事業の具体的な効果について



令和7年5月21日（水）

◆調査箇所：国東半島峯道トレイルクラブ（国東市国東町）

【概要】

国東半島峯道トレイルクラブは、山が好きな方や地域活性化のために取り組む方が集まった任意団体であり、トレッキングルートへの整備、地図の作成、ガイド派遣などの活動を行い、国東半島への誘客促進、ロングトレイルの認知度向上等に取り組んでいる。

今回は、クラブの概要、活動目的・実績等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・トレイルを通じた地域振興の取組内容について
- ・クラブの運営費について
- ・季節ごとのイベント内容について

◆調査箇所：東部振興局

【概要】

東部振興局から、組織及び人員、管内の人口推移、危機管理、管内の観光客数、地域活力づくり総合補助金（チャレンジ支援事業、地域創生事業、空き家ビジネス活用支援事業）を活用した地域活性化の推進、地域課題解決対応事業等の説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・大分ハローキティ空港への名称変更による誘客効果について
- ・タイガーエア台湾の就航が及ぼす効果について
- ・海水浴場の活性化について

◆調査箇所：奈狩江地区住民自治協議会（杵築市奈多）

【概要】

奈狩江地区住民自治協議会は平成22年に設立され、6行政区で構成されている。海岸線遊歩道の大規模改修、海岸清掃、松林の植樹活動を実施するなどしている。また、県と協力した海水浴場の活性化など、地区のにぎわいづくりにも積極的に取り組んでいる。

今回は、事業の概要や取組等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・海外からの修学旅行生の受入状況について
- ・東部振興局との連携について
- ・津波が発生した場合の影響について

◆調査箇所：大分高等技術専門校（大分市下宗方）

【概要】

大分高等技術専門校は、新規学卒者や離転職者等を対象として、職業の安定と経済的・社会的地位の向上を図るとともに、地域産業の発展に寄与することを目的として設置された職業能力開発校であり、2年制訓練のメカトロニクス科、1年制訓練の電気設備科、自動車整備科など計5科を設置し、ものづくり産業の発展に寄与する人材育成を行っている。

今回は、大分高等技術専門校の沿革、組織、職業訓練の種類、入校生の状況、令和6年度の訓練実績等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、校内の見学を行った。

<主な質疑等>

- ・委託訓練について
- ・入校者の年齢、募集年齢について
- ・資格取得のための取組について



令和7年5月29日（木）

◆調査箇所：株式会社蒲江創生協会（佐伯市蒲江）

【概要】

株式会社蒲江創生協会は、平成31年1月に設立し、現在は高平キャンプ場及び道の駅かまへの指定管理者となっている。道の駅かまへの直売所の売上を伸ばすために、売場のリニューアルや他部門との連携に取り組んでいる。また、新たな観光客獲得のためにキャンプ場と道の駅の両施設を運営している強みをいかした取組等も行っている。

今回は、会社の概要や取組等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。

<主な質疑等>

- ・漁業関連の取組における佐伯市や県との連携について
- ・キャンプ場の集客増に向けた取組について
- ・新規事業について



◆調査箇所：佐伯高等技術専門校（佐伯市西浜）

【概要】

佐伯高等技術専門校は、県南地域の企業ニーズを踏まえ、金属製品の製造に必要な4種類の溶接法や機械工作機の操作等を学ぶ機械加工科、木造建築に必要な手工具・電動工具の取扱法等を学ぶ建築科及び事務や営業等に必要なパソコンを用いた情報処理、文書作成等を行うオフィスビジネス科の3科を設置し、即戦力となる人材の育成を行っている。

今回は、佐伯高等技術専門校の沿革、組織、資格取得状況等の説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、校内の見学を行った。

<主な質疑等>

- ・オフィスビジネス科の教育内容と民間のパソコン教室との差別化について
- ・在校生の就職に向けたサポートについて
- ・卒業生の就職先及び就職後のフォローについて



◆調査箇所：南部振興局

【概要】

南部振興局から、管内の概況、組織及び人員、地域未来創造総合補助金事業（地域資源をいかした多様な旅行ニーズに対応したツーリズムの推進）、地域課題解決対応事業（デジタル活用佐伯の魅力再発見事業）などの説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・クルーズ客船受入推進事業のうち人気のあったものについて
- ・デジタル活用佐伯の魅力再発見事業の事業効果について
- ・企業のBCP（事業継続計画）について

◆調査箇所：一般財団法人観光まちづくり佐伯（佐伯市長島町）

【概要】

一般財団法人観光まちづくり佐伯は、佐伯市内外の関係者が一体となって地域価値の向上と交流人口の増加を図り、地域経済の活性化及び地域への誇りと愛着を醸成するために令和6年2月に設立された。

今回は、法人設立の経緯、組織、目指す姿、重点テーマに対する取組、経営指標に関する課題と対策等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・カプセルトイを使った事業について
- ・佐伯市の協力を得られた理由について
- ・会員数について

令和7年5月30日（金）

◆調査箇所：大野川発電所（豊後大野市犬飼町）

【概要】

大野川発電所は、昭和27年に完成した県営最初の水力発電所である。運転開始から60年以上が経過したため、主要施設の老朽化対策として平成30年度にリニューアル工事に着手し、令和3年度運転を再開した。新たな設備により、環境への配慮、発電効率の向上、大規模地震に対する耐震性を確保した上に、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を利用し20年間安定した売電が可能となっている。

今回は、組織、事業、リニューアル工事の概要等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・汚泥処理について
- ・水力発電の仕組みについて

◆調査箇所：JOY VILLAGE株式会社（豊後大野市清川町）

【概要】

JOY VILLAGE株式会社は、令和2年から指定管理者としてロッジきよかわを運営しており、アウトドアサウナ体験やパクラフトを活用した川下り体験等を提供している。令和6年2月には、しいたけをモチーフとし、薪にしいたけの原木を採取する際に発生する廃材を再利用した「なばサウナ」が完成。更なる集客に取り組んでいる。

今回は、施設、事業の概要等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。また、施設の見学を行った。



<主な質疑等>

- ・他のサウナ事業者との連携について
- ・施設の料金について
- ・冬場の集客について

◆調査箇所：株式会社Kabosu Company／矢野モータース（豊後大野市緒方町）

【概要】

株式会社Kabosu Companyは、かぼす栽培・販売のほか、自社のYouTubeチャンネル運営、サイクリングツアー事業を行っている。矢野モータースは、本業である二輪車の販売・修理業を運営しながら、サイクリングツアーのガイド事業を行っている。

今回は、今年4月にオープンしたばかりの宿泊施設「緒方の荘」において、事業の概要、取組、サイクリングツアーの様子について映像を交えて説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・サイクリングツアーの所要時間、料金について
- ・補助金の活用など行政との関わりについて
- ・開設した宿泊施設を活用した今後の事業展開について

◆調査箇所：豊肥振興局

【概要】

豊肥振興局から、管内の概況、組織、管内の特性、令和7年度の重点項目（農林業の振興、多様な地域資源を活用したツーリズム振興）、地域未来創造総合生補助金や地域の観光資源磨き上げ事業補助金を活用した事業、酒蔵等を活用した地域活性化事業、観光農業連携地域活性化事業等の説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・サイクリングコースにおける案内表示板について
- ・外国人観光客の来訪状況について
- ・豊肥地域における企業誘致について

◆調査箇所：九州アルプス商工会（竹田市久住町）

【概要】

九州アルプス商工会は、竹田市久住町、直入町、荻町を管轄し317事業者を会員とする商工会で、令和6年度の大分県商工団体経営指導員等支援成果事例表彰式において、最優秀賞及び特別賞を受賞している。

今回は、九州アルプス商工会から、組織概要、令和6年度の経営支援実績、経営指導員の機能的配置や収益事業等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・事業承継における地域的な課題やそれに対する取組について
- ・第三者承継について
- ・商工会議所との連携について

◆調査箇所：野津原町商工会（大分市野津原）

【概要】

野津原町商工会は会員120名を有し、小規模事業者の経営改善普及事業を中心に会員サービス事業、地域振興事業等に取り組んでいる。令和6年11月には、全国商工会連合会主催の第64回商工会全国大会において、県内では17年ぶりとなる中小企業庁長官賞を受賞している。

今回は、野津原町商工会から、組織の沿革、中小企業庁長官賞受賞の経緯、商工会の取組等について説明を受けた後、質疑及び意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・地域振興における取組の詳細について
- ・道の駅のはるの特産品について
- ・移住者の商工会への加入状況について